

IPネットワーク設備委員会 通信品質検討アドホック資料

2012年4月25日

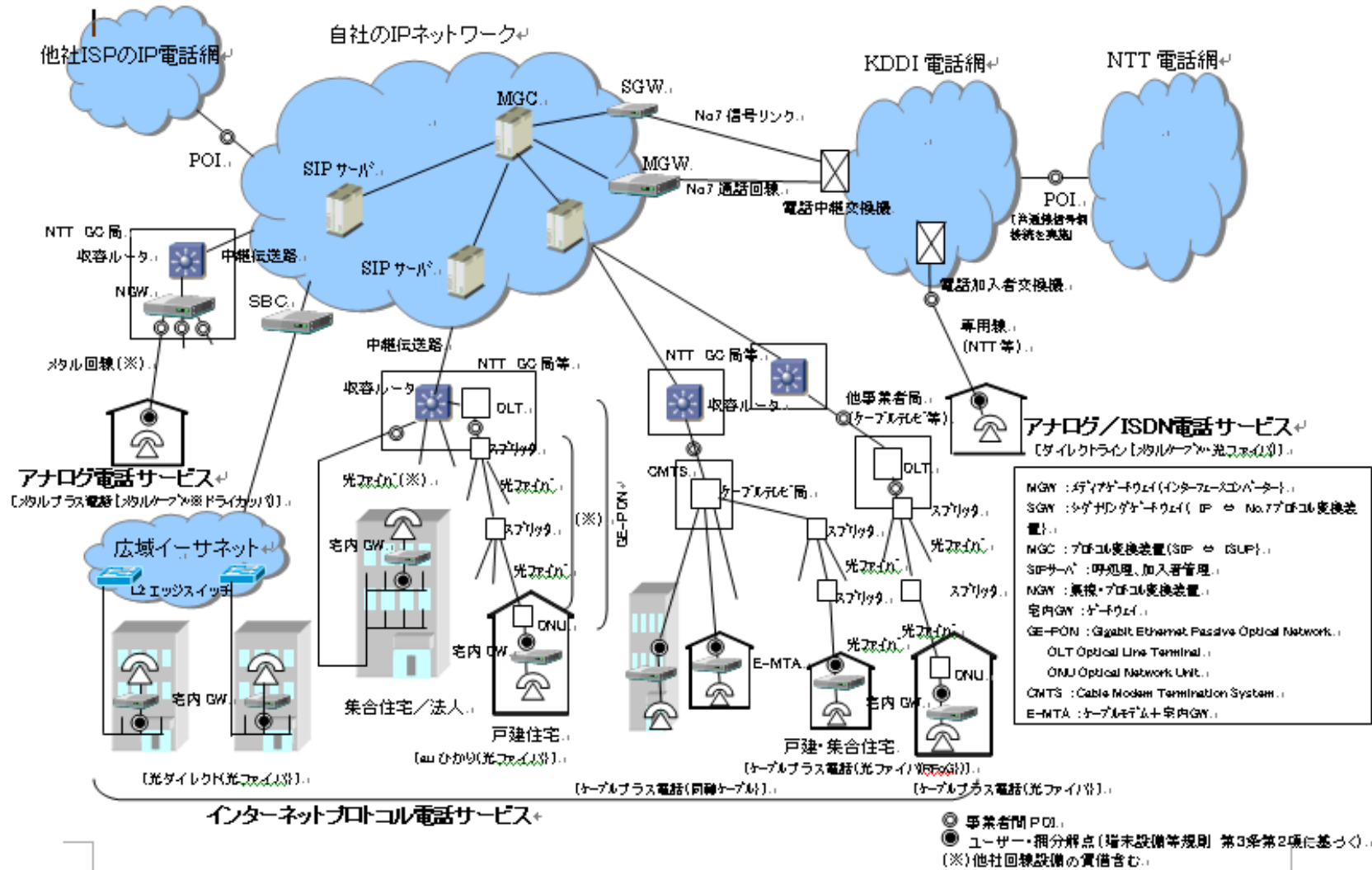
KDDI株式会社

(1) 弊社IP電話サービスの提供状況

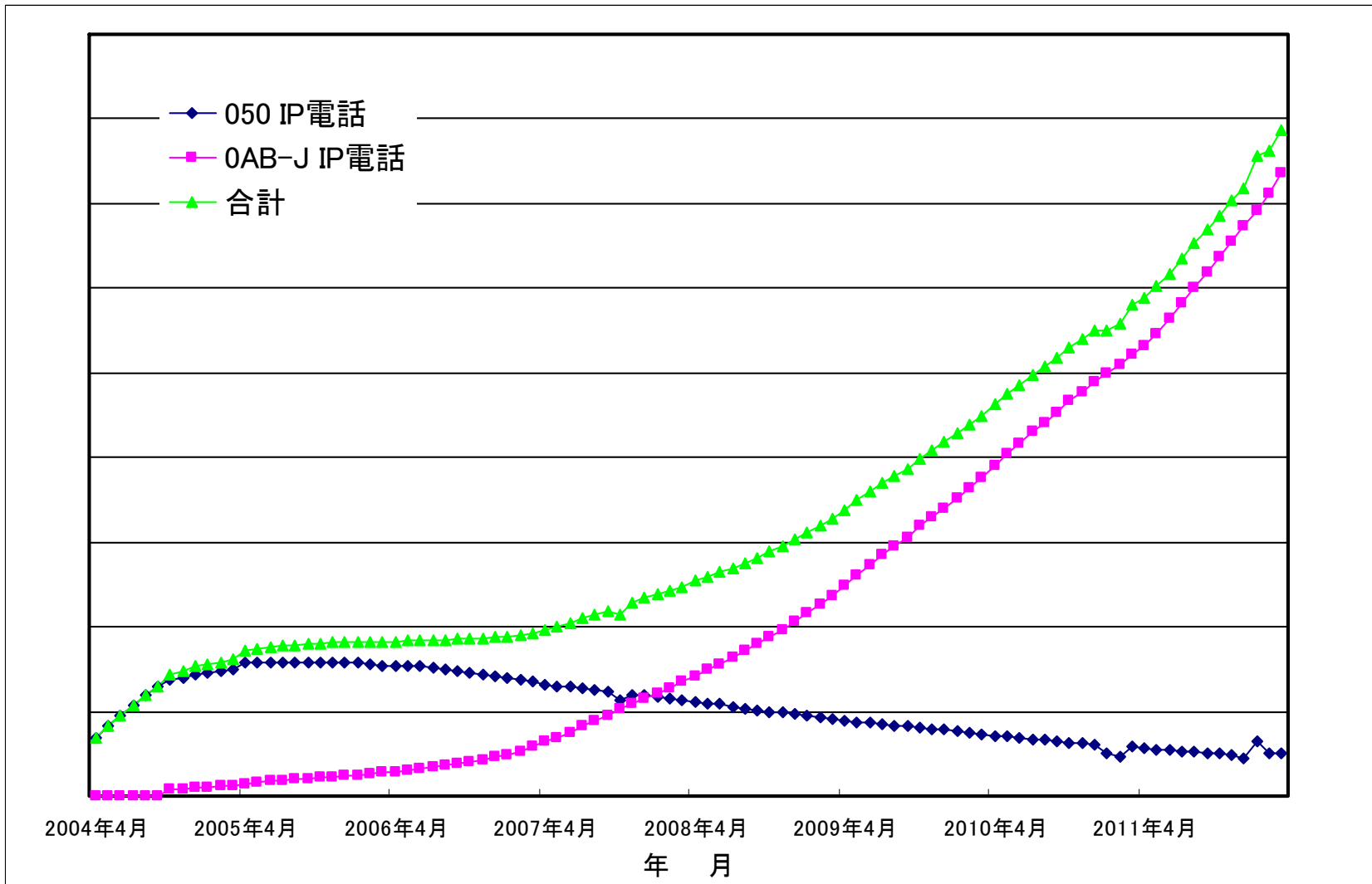
(2) 弊社IP電話ユーザーの動向

(3) IP電話サービスの品質に関する検討項目

(1) 弊社IP電話サービスの提供状況

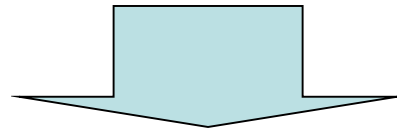


(2) 弊社IP電話ユーザーの動向



(3) IP電話サービスの品質に関する検討項目

- 品質に関する利用者ニーズについて、現状の固定電話と同等の品質を求める利用者がある一方で、料金の低廉化が図られるのであれば品質緩和を許容できると考える、あるいは、あまり品質にこだわられない利用者もいると考えられます。
- 他方、0AB～J IP電話は従来のPSTN電話を代替するものであるという観点から、高い品質を保証すべきとの考え方もあります。



ベストエフォート回線上での0AB～J IP電話検討するにあたっては、以下のような観点からの議論が必要と考えます。

- ① 既存の技術的品質維持措置(QoS、帯域分離)に代る技術的措置、あるいは技術的措置によらない品質維持措置が可能か
- ② 重要通信(緊急通報、災害時優先電話等)への影響はないか
- ③ 利用者に対するサービス条件(品質の違い等)の周知とサービス選択性の確保に問題は生じないか
- ④ 安定品質以外の諸条件(総合品質等)を含めた各基準の将来的なあり方
- ⑤ 「0AB～J」と050の違いを将来的にどのように整理するか」なども含めたIP電話サービスの将来的なあり方

参考資料(品質維持の取組み)

(例) ケーブルプラス電話

